

教員相互による全学一斉公開授業の試み

藤井 健・鬼塚哲郎・瀬尾美鈴・耳野健二・牛瀧文宏
(京都産業大学 教育エクセレンス支援センターFD 推進委員会)

1. はじめに

京都産業大学では、2003年4月に教育エクセレンス支援センターを開設し、全学レベルで積極的なFD活動を開始した。当センターにはFD推進委員会が置かれ、活動の中心となっている。組織的には、この委員会で決定された事項について、運営委員会に上げられ、承認されれば、部局長会での承認を経て、全学で実施に移される。2003年度に行った事業の主なものは、FD講演会の開催、FDアンケート調査(2回)の実施、News Letterの発行である。2004年度には、新たに、新任教員対象のFDワークショップ、教員相互による全学一斉公開授業、授業評価アンケート(「自己点検運営委員会」より移管)を実施した。また、ティーチング・ティップス集の編纂を進めている。ここでは、京都産業大学として初めて全学規模で実施した公開授業について紹介することにする。

2. 公開授業の実施概要

当センターでは、2003年度秋学期に、2回のアンケート調査を行った。1回目のアンケートはFDに関する教員の意識を調査するためのもので、122名の教員(全学専任教員の43%)から回答があった。設問の一つに教育能力開発を推進するためのプログラムとして重要と思われるものを問うものがあり、各選択肢の回答率を図1に示す。回答率の最大は「ティーチング・ティップス集の編集・発行」の47%で、次いで「公開授業の実施」の46%であった。回答者の半数近くが公開授業を希望しているという調査結果を踏まえて、当委

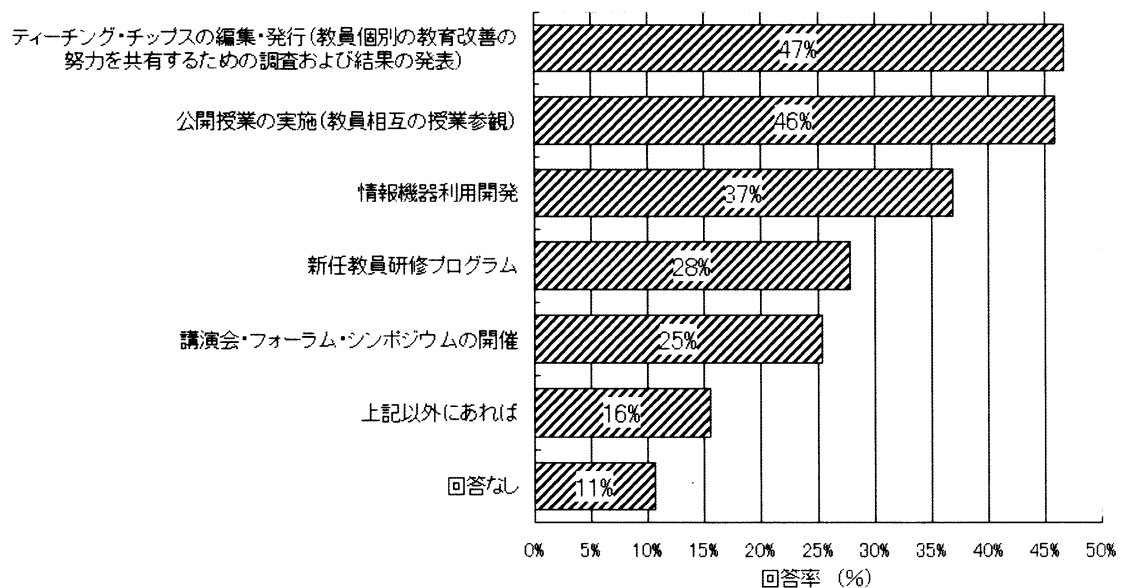


図1 教育能力開発(FD)を推進するためのプログラムとして重要と思われるものの回答率(複数回答可)

員会では、その実施に向けて準備し、2004年7月5日（月）～10日（土）に実施した。これは、「教員相互による全学一斉公開授業週間」と称して、専任教員全員に担当科目の授業公開と1科目以上の授業参観を依頼した。公開された授業は1,183科目（対象開講科目数1,570）であり、実施期間が定期試験2週間前であったが、参観を受けた授業は90科目、参観した教員は84名（延べ90名）であった。これは、全学専任教員の29%に当たる。

さらに、2004年11月9日（火）～15日（月）に、2回目の授業公開「教員相互による全学一斉公開授業週間（秋学期）」を実施した。公開された授業は1,319科目（対象開講科目数1,514）であり、参観を受けた授業は23科目、参観した教員は20名（延べ23名）で、専任教員の7%に過ぎなかった。秋学期は、春学期に比べて、定期試験期間直前を避けたにもかかわらず、このように低調に終わった。

3. 参観終了後のアンケート

参観者にはコメントを書いてもらい、所属事務室を通して授業担当者に対して直接に渡すことにした。このため、その内容については把握していないが、参観者や被参観者などに対して別途アンケート調査を実施した。記述回答のうち代表的なものを次に紹介する。

(1) 他の授業を参観して得られた成果について

- ・板書の効果的な方法や「細かなコツ」が大いに参考になった。
- ・授業の進め方、授業の雰囲気作り方に参考となることがあった。

(2) 授業参観者からのコメントで参考になったこと

- ・他の先生の授業に対する「悩み」(?)が理解でき、共通の話題ができるようになった。
- ・普段、教壇からは気がつかない点を指摘された。

(3) 来学期の公開授業実施に向けて改善すべき点

- ・気楽に、いつでも参観してよいという姿勢を打ち出すだけでもよいのではないか。
- ・学部で参観を薦める授業をいくつかピックアップしてもよいのではないか。
- ・公開授業をすることが目的なのではなく、授業の質および本学学生の学力向上が目的である。

4. 今後の課題

2回の「教員相互による全学一斉公開授業」を終えて、次の実施に向けて検討すべき課題は次の通りである。

- (1) 授業参観の成果を相互の授業改善にどのように結びつけていくか。
- (2) 授業改善を目指している教員の目的に合致した授業を明確にし、紹介する。
- (3) 秋学期に参観者が激減した理由について細かく分析し、次年度の計画を練り直さなければならない。
- (4) 参観教員の比率は、学部によって大きな差（春学期は10%～62%）がある。
- (5) 対象を非常勤講師担当の授業にも拡大する。

参考資料

京都産業大学教育エクセレンス支援センター：教育エクセレンス News Letter, 第2号, 2004年
京都産業大学教育エクセレンス支援センター：教育エクセレンス News Letter, 第5号, 2004年